

★最初に竿を曲げたのはヨッシー。1キロ級のアオリイカを釣り上げた

おっちゃん

内房の ティップラン エギング

撮影/文◎本誌編集部
Profile ◆よしおか すずむ 1982年生まれ。ヨッシーの愛称で親しまれている。一ツテンヤマダイ、ライト系オフシヨアルアーを得意とする。ジャッカルソルトプロスタッフ、シーガーインストラクター。

ティップランは、そんなに難しい釣りじゃない。簡単、と言ってもいいと思う。でも、油断はできないんだよ……

▲序盤は港前の浅場を探っていく
▲餌木を投入したら道糸の動きで着底を判断する。沈む道糸が止まったときに着底のサイン

◀当日の釣り場は勝山沖の水深20~45メートル

◆本編(62ページより)は高橋剛が執筆。沖釣りの楽しさをヨッシーとともにお伝えします!



ヨッシーこと吉岡進がエサ、ルアー釣りを問わず、様々な釣り物にガチで挑戦していく連載「ツリガチ!」。第19回は内房勝山沖のティップランエギング。
今シーズンもますます順調で、11月中旬に入ってから0.5~0.8キロを中心にして1キロ級を交えていい日はトップ10杯に迫る釣果が上がっている。
11月下旬に釣行したのは内房勝山港の勝山かき釣りセンター。和田五郎船長が目指した釣り場は勝山沖の水深20~45メートルで、根周りやカケ上がりなどを狙っていく。

▶サバフグが邪魔をして、同船者の中には糸を切られた方もいた



